

地域経済を支える港湾の既存施設の有効活用と災害対応力の強化

◆既存岸壁等を最大限に活用するための防波堤の整備促進

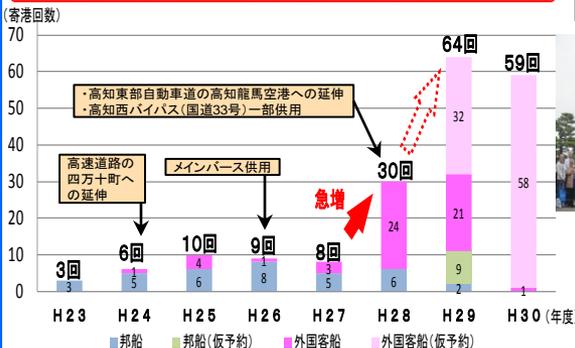
◆地震津波に対し、防災・減災効果を発揮する防波堤の粘り強い化の促進



◆静穏度不足により荷役障害や客船寄港時ロープが切れる被害が発生⇒静穏度向上のため南防波堤の整備促進

港湾機能強化と誘致活動で、過去最多の客船寄港

高知港におけるクルーズ船寄港回数の推移 (H29.3末現在)



防災・減災対策



浦戸湾の地震・津波対策である三重防護の第1ラインを担うものである。

[須崎港]



◆湾口防波堤がH26.3竣工
 ・津波に対する安全性が格段に向上
 ・静穏度が向上したことにより、臨海部企業の生産活動が活発化
 →H26、H27港湾取扱貨物量(フェリー除く)が四国1位
 ◆大水深岸壁整備に向けた港湾計画改訂(H29予定)

[宿毛湾港]



◆防波堤が未完成のため、波浪の影響を受けやすい

○地域経済を支えるとともに、防災拠点として重要な役割を担う港湾では、岸壁の安定的な利用のための整備や大規模地震に備えた防災・減災対策政策提言：の推進が不可欠です。
 ○既存岸壁等を最大限に活用するための防波堤の整備促進と、防災・減災効果を発揮する防波堤の粘り強い化に重点投資が必要と考えます。